

世はリストラ(人員削減)はやりである。リストラをする経営者が良い経営者で、しない経営者は悪い経営者のように感じられる。評論も少なくない。しかし、本当にそうだろうか。私をあえて、コストダウンの決め手は社員の増員であると言いたい。

直接工事費を低減する方法⑥

- ① 工法変更、VE提案などによる直接工事費の削減
- ② 外注費、資材購入費の削減による変動費削減
- ③ 工期短縮や現場担当者減員による固定費の削減
- ④ ①によって積極的なコスト低減策を立案し、直接工事費を削減することがベストであるが、多くの現場では②か③により間接経費の削減を先行している。その結果、専門工事業者の倒産

「コストダウンの決め手は社員増員」

ハタコンサルタント 降旗 達生  
代表取締役

や、失業の増加が目立って、作業手順を大幅に増員し、作業手順の見直しによりムダを排除している。

☆

さて、18年前に海外において実際にあった話を紹介しよう(建設業界14年9月号 山口寧夫氏「コストダウン」より)。

山口氏は熊谷組の代表者として、アメリカバケテル社とJVを組み、カナダにて水力発電所新設工事に従事していた。そこでコストダウンに関して、JV運営委員会において激しい議論がなされた。日本側は間接経費削減によるコストダウンを提案した。しかし、アメリカ側提案は、現場社員

☆

このように苦しい時こそ社員を増員し、社員を育成することが必要である。コストダウンして、自らの年収の3倍の粗利を稼いでくれる「人財」を育てあげることこそが、人である建設業において生き残る唯一の方法である。